



学力向上アンケート結果

校長 新保 喜和

猛暑の中、個人懇談へのご協力ありがとうございます。

さて、先週、学力向上アンケートを実施しましたので、その結果を5月との比較でお知らせします。

青色系が1年生、茶色系が2年生、緑色系が3年生を表し、各学年、上の濃い色が7月、下の薄い色が5月の結果です。

1・2年生は 夏休みに学習習慣を身につけよう！

現在の家庭学習の状況として、3年生は着実に学習に取り組んでいる一方で、1・2年生では学習時間が不足している生徒が増えており、二極化が見受けられます。これを踏まえ、1・2年生には次の2点を意識してほしいと思います。

1. まずは「1日1時間以上」机に向かう

学習習慣が定着していない場合は、毎日決まった時間に机に向かうことから始めてください。大切なのは、長時間勉強することよりも、まず「毎日続ける」ことです。

2. 夏休みを利用して継続する

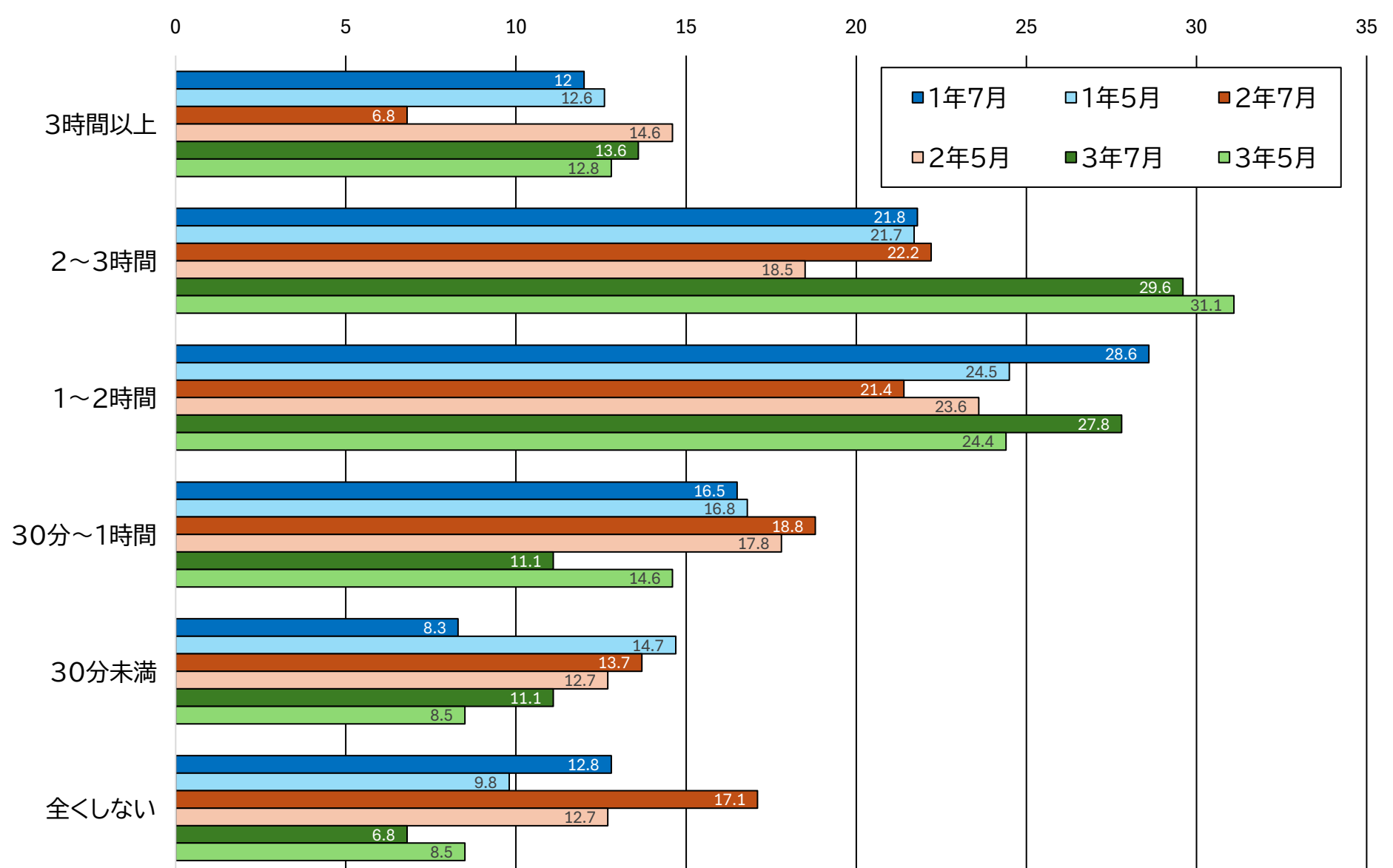
新しい行動を習慣として身に付けるには、個人差はありますが、ある程度の期間(3週間～2か月)続けることが大切です。まとまった時間が取れるこの夏休みは、学習習慣を確立させる絶好のチャンスです。まずは最初の3週間を目安に、毎日続けることを意識して取り組んでみてください。

<各学年について>

各学年とも、「1～2時間」と「2～3時間」学習している生徒が多いです。一方で、3年生は「全くしない」と答えた生徒の割合5月の8.5%から7月の6.8%へ減少していますが、1年生では9.8%から12.8%、2年生では12.7%から17.1%へ増加しており、学年で違いがあります。学習習慣が定着している生徒とそうでない生徒の「二極化」が見受けられます。引き続き、学習習慣の定着に取り組んでいく必要があります。まずは「1日1時間以上」をひとつの目安として、机に向かう習慣ができているかがポイントとなります。

1年生は、「1～2時間」勉強する生徒が、5月の24.5%から7月には28.6%へと増加し、中学生としての学習ペースを掴んできた生徒が増えています。しかし、7月時点で「30分未満(8.3%)」と「全くしない(12.8%)」を合わせると21.1%となり、約5人に1人が学習時間を十分に確保できていません。毎日少しずつでも机に向かう習慣を身に付け、家庭での学習時間を安定して確保していく

学校の授業時間以外(塾や家庭教師含む)に普段(月～金)、1日あたりの学習時間



ことが今後の課題です。

2年生は今回、「3時間以上」の割合が14.6%から6.8%へと減少した一方で、「全くしない」と答えた生徒が17.1%に増加しました。7月時点で「30分未満」と「全くしない」を合わせると30.8%となり、およそ3人に1人が十分な学習時間を確保できていない状況です。学校生活に慣れが出る時期ですが、授業で学んだことを家庭での復習や自主学習につなげ、継続した学習習慣をより確かなものにしていく必要があります。

3年生は、「2～3時間」が29.6%、「1～2時間」が27.8%、「3

時間以上」が13.6%と、学習時間を確保している生徒が多く、5月と比べても、学習時間の水準はおおむね維持されており、進路に向けた意識が高く、家庭学習にも着実に取り組んでいる頼もしい様子がうかがえます。

授業については、どの学年でも、授業のめあてを意識しながら学び、話し合いや発表、タブレットを効果的に活用していることが分かります。一方で、授業での学びを家庭学習につなげることや、自分で学び方を工夫して意欲的に学習に取り組むことについては、今後さらに伸ばしていきたいところです。

